



第4号様式 (第13条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和4年(2022年)6月15日

函館市長様

住所 函館市北浜町7番5号  
申請者 氏名または団体名 株式会社北食  
および代表者氏名 代表取締役 瀬戸口 肇

令和3年(2021年)10月27日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和4年(2022年)5月31日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 補助対象事業の種類 (該当する番号を○で囲むこと。)  
○(1) 専門家派遣型IT・ロボット等設備導入支援事業  
(2) IT・ロボット等活用共同研究支援事業

2 補助対象事業の名称 真空包装機導入による生産性向上事業

3 補助金等交付決定通知額 金10,000,000円

4 補助金振込先 (申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
口座名義	(カナ)		

5 実績書 別紙のとおり

## 実績書

事業の名称	真空包装機導入による生産性向上事業
実施内容	<p>日付印字、袋詰め、液充填、真空包装の 4 工程を人手で生産しているが、この 4 工程を集約することができる真空包装機を導入することで生産性の向上と商品の安定供給を図る</p>
期待される効果	<p>真空包装機での生産対象商品 3 品中 2 品は季節商品であり 8 月から生産開始し本格稼働は 10 月から 2 月となる。機械導入前はこの 3 品の生産は難しいと考えていたが、生産が可能となった。</p> <p>現在は 1 品を生産しており、ライン流量は目標 120% に対し 110% であるが、2 名の省人化を達成しており他ラインへ移動し生産している。</p> <p>10 月からの本格稼働に向け、ライン流量目標の 120% を達成し生産性の向上を図る。</p>
今後の展開について	<p>3 月から 9 月までの半年間は真空機の稼働に余裕があることから、春夏商品の開発、又は受け入れにより、機械稼働率および生産性の向上を目指す。</p>
研究者の協力内容 (共同研究支援事業の場合)	

- (注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)
2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認めた書類を添付すること。

収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
自己資金	16,850,000	16,850,000	16,850,000	16,850,000	0	0	
函館市補助金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	0	
合計	26,850,000	26,850,000	26,850,000	26,850,000	0	0	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
真空包装機導入費	26,850,000	26,850,000	26,850,000	26,850,000	0	0	古川製ロータリー式真空包装機一式
合計	26,850,000	26,850,000	26,850,000	26,850,000	0	0	

収支差引額 0 円

(注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。